

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム 夏みかん

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

宇都宮 加奈

評価完了日

平成 19 年 10 月 1 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月8日

【評価実施概要】

事業所番号	3870400227		
法人名	医療法人 青峰会		
事業所名	グループホーム 夏みかん		
所在地	八幡浜市八代4 5 番地 (電話) 0894-24-3334		
管理者	宇都宮 加奈		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年10月15日	評価確定日	平成19年11月8日

【情報提供票より】 (平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年10月1日現在)			
利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 75 歳	最高 97 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>調査訪問時、利用者が中心となって食事の支度がなされていた。職員は、利用者の出来ること出来ないことを把握した上で場面作りをされていた。野菜等を大きく切り食材がわかるようにされ、柔らかく煮込み、食べ方についても職員のさりげないサポートで全部食べられるよう支援されていた。</p> <p>晩酌のお好きな利用者の方と酒屋に好みのお酒を買いに行き、夕食時に楽しめる方がおられる。毎朝、手を合わせてその日の無事を祈願される方もおられる。</p> <p>事業所内では、毎月のスタッフ会時、テーマを決め職員全員でスキルアップが出来るよう取り組んでおられる。職員は、「能力開発カード」を用いて、個別に課題や目標を立て、管理者と話し合いながら達成できるよう取り組まれている。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受け、利用者の居室のしつらえについて、ご家族の協力を得ながら取り組まれた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・職員全員で自己評価に取り組み、その後、スタッフ会で話し合い管理者がまとめられた。事業所では、評価の機会を日々のケアの振り返りの機会として役立てておられた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・運営推進会議時、取り組みの報告等を行い、事業所のことを知っていただけるようすすめておられる。公民館長、区長の方に避難訓練に参加していただき、地区消防団へも協力の依頼をされた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・ご家族との会話の中から希望や要望を聴き取り、ご本人の生活のこと、食べ物や外出の希望等、ご家族からの意見を出来る限り採り入れておられる。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・地域行事へ参加されたり、近くの商店への買い物、近くの理髪店の利用等、地域の人達と多く交流できるよう取り組まれている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>「認知症があっても地域の中で当たり前暮らしながら人間の尊厳を大切に生きていく」ことを理念としている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、利用者個々が地域の中で、より良く暮らすことが出来るよう支援するための理念を掲げておられている。</p>		<p>「言葉が難しい」との声あり、わかりやすい言葉で理念を掲げる。</p> <p>さらに、理念を誰にでもわかる言葉で伝えていくような取り組みも考えておられた。</p>
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム内に理念を大きく掲示し、職員全員が理念を共有できるようにしている。理念の実現に向けて、職員が年2回、具体的な目標を考え、目標達成に向けて取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関とリビングに理念を掲示し、職員で理念を共有されている。年2回理念に沿って目標を立て、取り組んでおられる。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム内に理念を大きく掲示し、来所された方が見られるようにしている。また、運営推進会議の場で伝えている。</p>		グループホーム便りや、ホームのパンフレットなどにも理念を記し、より、理解して頂けるようにする。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩などの外出の際、ゴミ出しの時など、挨拶をしているが、立ち寄って頂けるようなお付き合いはできていない。		ホームの行事の際、地域の方への参加を呼びかける。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域行事へできるだけ参加をしている。その中で、利用者様の知人と出会い、交流が持てている。また、お祭りには、地区のお神輿や牛鬼など立ち寄ってもらう。  (外部評価) 地域行事へ参加されたり、近くの商店への買い物、近くの理髪店の利用等、地域の人達と多く交流できるよう取り組まれている。		地域行事への参加を継続して行う。また、地域商店の活用のお機会をつくる。  今後、散歩の際の挨拶等、事業所側からも積極的に地域の人達と交流できる機会を作り、地域の人達に事業所のことをさらに知っていただき、気軽に立ち寄っていただけるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 現在、地域への貢献はできていない。		運営推進会議を通じて、地域内のニーズの把握を行う。また、ホームを多くの方に知って頂く為、回覧版などの活用を考えている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全職員で取り組み、グループホームの求められていることを理解してもらい、また、日頃の仕事の振り返りの機会にしている。外部評価の結果について、報告を行い、できることから改善できるよう話し合う。  (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、その後、スタッフ会で話し合い管理者がまとめられた。事業所では、評価の機会を日々のケアの振り返りの機会として役立てておられた。前回の評価結果を受け、利用者の居室のしつらえについて、ご家族の協力を得ながら取り組まれた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、その意見をサービス向上 に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議の場で、外部評価についての報告を行い、御家族や地域の方へ意見を頂いている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、取り組みの報告等を行い、事業所のことを知っていただけるようすすめておられる。公民館長、区長の方に避難訓練に参加していただき、地区消防団へも協力の依頼をされた。		事業所は、これまでも、認知症のことや介護のことについて地域の方達から相談を受けておられ、今後も、地域に浸透し、拡げていけるよう会議を通じて働きかけていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			グループホーム連絡会への参加、また、月初めにホームの利用状況や利用者様の入退居等報告している。また、市から介護相談員が来所され、利用者様の相談や話を聴いて頂いている。		
			(外部評価)		
			毎月、介護相談員を受け入れておられ、利用者の暮らしについて話し合いながら事業所のさらなる質の向上を目指しておられる。管理者は、介護認定審査会にも出席されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			県や、グループホーム協会の勉強会へ参加し、職員へ報告をしている。しかし、すべての職員が理解するに至っていない。		制度についての勉強会を何回か行ってみる。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待について定義など勉強会を行っている。職員は虐待について、身体虐待だけでなく、言葉でも虐待につながることを理解し、注意している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明書にて説明を行い、理解を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情等の受付窓口を明らかにしている。また、直接伝えにくいこともあることを考慮し、苦情受付箱を2か所設けている。		用紙の補充や、設置場所は適切かなど随時検討したい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 2か月に1回、ホーム新聞をつくり、行事や暮らし振りについて報告している。また、健康状態の変化があればその都度報告し、対応等話し合いをしている。また、金銭の出納について、明細表にて報告をしている。		
			(外部評価) 毎月、ご家族に対して利用者の健康状態や暮らしぶりを手紙にて報告されている。さらに、評価結果等の報告や日々のケアについても随時、知らせておられ、緊急時には、詳細に報告されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情の受付窓口を重要事項説明書にて明らかにしている。		
			(外部評価) ご家族との会話の中から希望や要望を聴き取り、ご本人の生活のこと、食べ物や外出の希望等、ご家族からの意見を出来る限り採り入れておられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) スタッフ会は職員主体ですすすめている。そこで、意見や気づきなど発表、話し合いをしている。		普段の小さな気づき、考えも把握できるよう、伝達方法を工夫したい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者様の生活支援に必要な職員数を確保しながら、1か月の予定をたて、それにそって勤務するが、状況や職員のやむを得ない事情があれば、勤務変更を行い、調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動は法人が行っている。職員が代わる場合は管理者より、利用者様、御家族様へ説明している。		運営者へ職員異動により生じるリスクについて話し合い、理解を求める。
			(外部評価) 職員の異動は法人が行うようになってきているが、事前に事業所で相談がなされている。異動の際には、利用者とも食事会をされ、異動後も事業所を訪ねて来られる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勤続年数に合わせて研修への参加をすすめる。また、管理者が研修の情報収集を行い、必要であると思う職員へ参加をすすめる。		
			(外部評価) 職員の段階に応じた研修が法人で行われており、職員は随時出席をされている。又、「能力開発カード」を用いて個別に課題や目標を立て、管理者と話し合いながら達成できるよう取り組まれている。事業所内では、毎月のスタッフ会時、テーマを決め職員全員でスキルアップが出来るよう取り組んでおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上                      運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>同業者との交流の機会や、ネットワーク作りは個人に任されている。交流会や、勉強会を他グループホームと合同で行っている。</p>		<p>運営者が交流の場へ参加していただき、サービスの質の向上にむけて、一緒に取り組んで頂けるよう声かけをする。</p>
			(外部評価)		
			<p>法人内のグループホーム同士で設備等ハード面の工夫や、ケアの取り組み等について情報交換がなされている。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み                      運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>スタッフ会で利用者様への対応、介護の方法で困ったことなどを話し合い、一人で抱え込まないようにしている。しかし、運営者に現場の環境が理解されていないと感じる職員が多い。また、きちんと休憩できる時間と場所が確保されていない。</p>		<p>運営者と相談する機会をつくる。</p>
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み                      運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>年2回管理者と職員で面接を行う。その結果を運営者に提出している。しかし、介護サービスについての取り組みについて伝わりにくく、評価をいただいているようには思わない。</p>		<p>職員一人一人が向上心を持って働けるよう定期的に現場を見ていただく、また、日々の取り組みを理解していただくよう話し合う。</p>
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>					
<p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係                      相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>利用時にホームに対する希望や不安をお聞きし、援助へつなげる。また、可能な限り、面会し、御本人にお会いして、話をさせて頂く。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  ホームの説明を行い、相談窓口を伝えている。また、利用前にホームに対する希望をお聞きしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  現在、ホーム内での問題に取り組んでいるが、他のサービスの利用については対応できていない。		必要に応じて他サービスについてご家族へ紹介してみる。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  入居を希望されている方へお会いし話をさせて頂いている。また、入居後に落ち着くまで御家族様が付き添いをしていただいたり、職員や他利用者様と自己紹介ができる場をつくっている。しかし、長期間にわたって、徐々に慣れていただける支援ができていない。  (外部評価)  管理者は、入居予定者を何度も訪問し、ご家族とも相談を繰り返し、顔見知りになってから入居できるよう取り組んでおられる。		今まで、必要に迫られてのサービス利用が多く、利用までに時間がないことが常であった。地域との交流を通じて、サービス内容を知って頂いたり、ホームを訪れて頂ける取り組みをしていきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  食事の作り方、野菜の育て方、昔ながらの歌や風習など教えて頂いている。また、ソロバンが得意な方からソロバンのおき方を習う機会をつくっている。  (外部評価)  職員は、利用者より昔の遊び(お手玉、けん玉)や地域の昔話等、教えてもらっている。野菜の育て方を教えていただき、一緒に畑仕事をされている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 外出や、行事の際、ご協力いただいたり、利用者様の昔の様子を教えて頂き、ケアにつなげている。また、ホーム内での利用者様の新たな一面を発見した時、御家族様へ報告するようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 「分けのわからないことを言って困る」といわれるご家族様へ認知症についての情報を伝え、今の利用者様が受け入れられるよう支援する。また、遠方で住まわれている御家族様へホーム新聞や写真をお送りしている。		ご家族間の関係など、他人には話しにくいものなので、不快に思われないような支援をしていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの理美容室、歯科医院がある方へ、ご希望に沿って利用できるよう援助している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 難聴などにより、他利用者様と関わるのが困難な方へ、スタッフが間に入って話をしている。また、誕生日会で、プレゼントを渡したり、お祝いの言葉を伝えて頂くなど、交流をもっていただく。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ホームを退居後、入院された場合はお見舞いにお伺いしている。また、御家族様から庭で取れた果物を頂いたり、「親戚にみせたいので写真が残ってないでしょうか」と連絡がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) ケアプランを立てる際、ご希望をおうかがいし、身体 の状況や、趣味の支援なども考慮している。また、ご 希望の伝えられない利用者様へは、身体的に不快感な く過ごして頂けるよう配慮している。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者の希望や意向を聞き取り、これまでの 暮らし方や趣味等についても把握されている。意思表 示の困難な人には表情やご家族等にもお聞きしなが ら、思いの把握に努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 入居時に利用者様や御家族様から生活歴などお伺いし て、ホームでの生活にいかしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状を総合的に把握する ように努めている</p>	<p>(自己評価) 入居後しばらく様子を見ながら、介護記録を細かく記入 し、全ての職員が状態を把握できるようにする。その 後、その方に合った過ごし方、できること、得意なこと、 好きなことを見つけ、提供する。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 御家族様がホームへ来所された時に日頃の状態を報告 している。また、来られないかたへは、手紙や写真を 通して報告している。その上で、ご希望や、心配な点 をお聞きし、ケアプランをたてる。</p> <p>(外部評価) ご本人、ご家族、主治医の意見等を聞きながら、介護 計画を作成しておられる。ご本人のお元気な頃の様子 等や習慣等も採り入れられるよう作成に努めておられ る。</p>		<p>今後も話しやすい雰囲気作り、信頼関係作りを行う。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			1か月に1回のケアプランの評価と3か月に1回立て直しを行う。また、病院の入退院や、状態の変化があれば、その都度プランの立て直しを行っている。		
			(外部評価)		
			毎月、計画についての評価を行なっておられる。さらに、介護計画の見直しについては、「生活見直しシート」「課題見直しシート」を活用し、3ヶ月に1回、定期、又、状態に応じた随時の見直しがなされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケアプランに沿って、介護記録をとっている。日々の様子など細かく書いているが、介護上工夫した点や、新しい一面に関しての情報が少なく、一部形式化した記録がある。		どのような介護を行い、それに対しての、利用者様の反応を記入できるようにする。また、ケアプランを記録と一緒にとじて、記録するときや、現場で、ケアプランを見やすくする。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			現在は入居サービス、認知症に対する相談窓口、健康管理、通院や外出時の付き添い、送迎を行っている。		
			(外部評価)		
			事業所では、認知症の電話相談に応じておられる。利用者の希望に沿って、歯科医院への通院、理髪店への付き添い等もされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者様が安心して生活できるよう、消防署へ救命救急の講習や、避難訓練の協力をお願いしている。また、地域行事やへの参加、学生ボランティア受け入れなどで、つながりをもっている。		地域資源の開発、地域の方々へホームをより知って頂く為回覧版の利用を考えている。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他介護サービスの利用希望の例がない。一般の理美容室の利用が困難な方へ訪問利用サービスを利用して頂いている。		今後、利用者様、その御家族様の希望や要介護度の軽減がみられるなど、あった際、対応できるようケアマネジャーや、事業者との連携を図っていきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 成年後見制度について、パンフレットの配布を行い、紹介を行った。しかし、協働できる体制作りができていない。		利用者様のニーズの有無に関わらず、地域包括支援センターとの情報交換ができるようにしたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時にご希望のかかりつけ医をお聞きしている。また、かかりつけ医へ日々の状態報告をしている。  (外部評価) かかりつけ医には日々の状態を報告し、相談されている。以前から利用されていた歯科医を受診されている方もおられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医は認知症に関してくわしく、利用者様が話しやすい雰囲気作りや、接し方をして頂いている。また、職員は、日々の状態を報告し、情報を共有できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 職員は日々の状態を報告し、相談を行っている。また、看護職員は定期的にホームを訪ね、利用者様とコミュニケーションをとりながら、状態把握をされている。		
		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入居者様が、入院された際にはお見舞いにいき、状態の把握に努める。また、病棟スタッフや、ケアマネジャーと相談し、情報交換を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 緊急時についての話はできているが、終末期についての話し合いが不十分である。また、看取りについて、職員より不安の声があり、実施できていない。  (外部評価) 現在、事業所では、終末期のケア等に付いて話し合うような機会は少ない。		利用者様や、御家族様のお考えをお聞きする機会をつくりたい。また、お気持ちが変わることも予想し、定期的に話し合いの場をつくりたい。スタッフは利用者様や御家族様の希望で、重度化してもホームで過ごしたいという希望に対応できるよう勉強会を行いたい。  さらに、ご本人やご家族の意向の聴き取りや職員の勉強を重ね、対応できるよう取り組んでいきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 主治医は、ホーム内を把握して頂き、職員へアドバイスをされている。		重度、終末期の利用者様への対応など、職員へ勉強会できる機会をつくりたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 病院に入院中の方へ、何回か訪問させていただいている。また、御家族様より、自宅での暮らし振りをお聞きし、可能な限り、入居前の生活が再現できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) トイレ誘導時に不必要な大声で声かけしない。また、介護記録は事務所内、事務所前の決まった場所に保管する。入居には個人情報のとりあつかいについて説明している。</p> <p>(外部評価) 職員は、トイレ誘導や食事の際の食べこぼし等、ご本人の気持ちに配慮し、他の人にわからないよう、さりげなく対応されていた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 決定をせかささないよう、一緒に座り、考える時間をとりながら、話をする。また、分かる力にあわせて、「YES・NO」で表される説明や、考えうる選択肢を提供し、決定して頂く。日常の中で、食べたいものや、行きたい場所の聞き取りを行い、献立や、外出援助を行っている。週に1回パン屋さんが来所され、好みのパンを選んで頂いている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 健康が維持できる生活のながれを提案しているが、外出、入浴等、利用者様の希望を優先し、団体行動にならないようにしている。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、食事の準備をされている方や洗濯物をたたむ方等、それぞれご自分のペースで過ごしておられた。昼食後も思い思いの場所で過ごされており、職員は、利用者の傍らにさりげなく居られ、サポートされている様子がうかがえた。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ご希望に合わせて、理容店等を利用して頂いている。馴染みの理容店で散髪のアとも店の方との会話を楽しまれている。また、外出時にご家族の協力を得ている。洋服はできるだけ、御本人の着たい服と一緒に考えている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 行事の時には特別なメニューにしたり、利用者お一人お一人の好みをお聞きし、メニューに入れている。また、利用者様の能力に合わせて、材料を切る、味付け、盛り付け、片付けなど、作業をすすめ、職員と行っている。特に、男性利用者様も興味を持っていたくよう、手作りの餃子や、お好み焼きなどのメニューもいれて、一緒に作っている。 (外部評価) 調査訪問時、利用者が中心となって食事の支度がなされていた。職員は、利用者の出来ること出来ないことを把握した上で場面作りをされていた。野菜等を大きく切り食材がわかるようにされ、柔らかく煮込み、食べ方についても職員のさりげないサポートで全部食べられるよう支援されていた。下膳についても出来る方はご自分でされており、後片付けも利用者同士協力し合い行われていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 入居前より飲酒されていた方へ、入居後も楽しむことができるよう、一緒にお酒を買いに行き、夕食時にお出しする。また、おやつなども、好みのものを選び、楽しんでいただけるよう、支援している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄の訴えができない方へ、排泄パターンを調べ、トイレ誘導の時間を設定している。また、不安なく排泄できるようADLにあわせ、ポータブルトイレなどの排泄用具も利用している。作業に夢中になり、トイレへ行かれない方へプライドを傷つけないよう「少し休憩しましょう」とトイレへ誘導して失敗しないようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望される入浴時間帯をお聞きし、現在は、16:30ごろまで、入浴していただいている。入浴を拒否される方へは、無理強いせず、散歩等体を動かした後、入浴を進めるなど、対応している。		利用者様のご希望で、夕食後も入浴していただいている。今後ご希望に添えるようにしたい。
			(外部評価)		
			入浴を嫌がる人には、散歩や畑仕事の後に気持ちよく入浴していただけるようすすめておられる。清拭等もされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			夕食後は職員が就寝時間を決定するのではなく、リビングで一緒に話をしたり、お気に入りの場所で思い思いに過ごしていただき、眠たくなったら休まれるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			家事をされていた方と台所に立ち、食事の準備をする。また、行事をどのように進めていくか、畑の作業をどうすればよいか、など相談しながら行っている。そのほか、お一人お一人にあった外出援助を行っている。		
			(外部評価)		
			晩酌のお好きな利用者の方と酒屋に好みのお酒を買いに行き、夕食時に楽しまれる方がおられる。翌日の献立を夕食後にボードに書いてくださる方がおられる。毎朝、手を合わせてその日の無事を祈願される方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自力で管理することが困難な方へは盗難・紛失を考えて、立替で支払いをしている。しかし、「お金を持っていないと心細い」という気持ちを大切に、できるだけ管理はご本人にお任せしている。その他、外食レクリエーションにて、支払いをお願いしたり、日常の買いものをする場面で、できるだけ、ご本人にお支払いしていただけるよう援助している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			普段は、散歩や洗濯物干しや買い物など、外出の機会をつくっている。また、歯科受診、自宅を見たいなどのご希望をお聞きしが異種援助を行っている。		
			(外部評価)		
			散歩に出かけたり、利用者の希望に沿って、近所のスーパーへ出かけられたり、季節に応じて、お花見や神社の夜市など皆で出かけることもある。		さらに、利用者一人ひとりに合わせた外出の支援が出来るよう取り組んでいきたいと考えておられた。又、散歩に良い季節には、さらに外に出て、出会う方との交流等を楽しみたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			ご家族の協力を得て、一緒に外出して頂いている。ご希望に沿って買い物支援等している。しかし、遠方への外出はできていない。		普段の会話の中から行きたい場所を把握していきたい。また、どうしたら、外出できるか方法を考える。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話機は事務所だけでなく、誰でも使用できるよう、リビング内に設置している。通話の際は座ってゆっくり話ができるようにしている。また、年賀状や手紙など希望をお聞きしながら送れるよう援助している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			来所時は笑顔でお迎えし、椅子やお茶をお出しして、ゆっくり過ごしていただくようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  「外へ出られないよう施錠する」「身体を縛り、動かないようする」といった行為をしてはならないことを全職員が理解できている。また、実践できている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は玄関・居室を施錠せず、自由に出入りできるようにしている。毎日一人で出て行かれる方は「何時ごろ」「どのような理由で」出て行かれるかを把握し、その時間帯は特に行動を見守り、付き添いをして  (外部評価)  玄関の扉には鈴がついており、音で出入りの確認が出来るようになっていた。居室の掃きだし窓も利用者がいつでも開け閉め出来るようになっていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  職員は全体を把握できる場所におり、居室へはロックして許可を得て入り、様子を伺う。介護記録は全体が見えるリビングで行う。夜間は2時間ごとに見回りを行い、安全確認を行っている。特にトイレの時はプライバシーの保護に配慮するよう職員が気をつけている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  包丁など刃物を使用されるときは職員がさりげなく付き添い、適切に使用されているか、安全に片付けられているか見守りをしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  半年に1回避難訓練を行い、避難方法や、消化活動の方法を確認している。また、消防署の協力にて応急手当・心配蘇生法の研修を実施している。薬袋はマーカーで色分けをして誤配を防ぐ。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 電話機横に緊急時連絡マニュアルを掲示している。また、職員は消防署にて救命救急講習を受講し、緊急時の対処法を学んでいる。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の方をお招きし、火災など災害時の避難の方法の説明、訓練の様子をみてアドバイスを頂く。また、施設所在地地区の消防団の方を紹介していただいている。		訓練の際は地域の中でも一部の方へのみ呼びかけができておらず、今後は近所への呼びかけを行い、ご意見や協力が得られるようにしたい。
			(外部評価) 隣接の保育所と合同の避難訓練を行っておられる。公民館長の方、区長の方に訓練に参加していただいた。法人内のグループホームと共に消防署の協力を得て、救急救命法の講習を受講されている。		さらに、今後、災害時、近隣の人達に協力していただけるよう、運営推進会議等を通じてお願いしていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 「家に帰りたい」気持ちから外へ出られることや、転倒の恐れがあることをご家族へ説明している。夏みかんでは、夜間以外は施錠せず、自由に出入りできるようにしていることを説明、外出時はスタッフが付き添いすることなど伝える。		話し合いが最初のみ行われて定期的な話し合いができていない。ご家族のお気持ちを理解できるよう、定期的に話し合える機会作りをしたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックを行い、主治医へ報告している。体調の変化を感じられたら、協力病院へ連絡し、指示を仰ぐ。その後、介護記録へ記入し、申し送る。		体温や血圧等の正常値や観察すべき点があいまいにならないよう定期的に勉強会を行う。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服薬の目的・用量・副作用など書かれた一覧表をファイルし、職員が見られるようにしている。内服薬変更時は主治医より薬の効果や副作用、観察すべきことを教えていただいている。内服薬はA D Lにあわせた服薬援助を行う。服薬支援について、勉強会を行う。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 日々排便の有無をチェックしている。また、便秘薬を服用されている方へは薬に頼り過ぎないように、朝のラジオ体操・掃除・畑仕事への参加を促す。また、水分補給をすすめている。オムツは極力使用せず、自然な姿勢で排便できるよう援助している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後声掛けをし、見守り、義歯洗浄の介助など、お一人お一人に合った介助を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事やおやつ、活動後や、入浴後など、適宜水分をすすめている。また、熱いお茶、冷たいお茶などその方の好みに合わせて提供している。お一人お一人の食事は介護記録に記入し、把握している。法人内の栄養士に献立を提出し、献立の評価をしていただいている。 (外部評価) 食事量や水分摂取量を記録し、利用者一人ひとりについて把握されている。食事の少なかった人には、おやつ等で補えるよう工夫をされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 肝炎保菌者に対し、食器類を分けたり、消毒するようになっている。また、施設独自のマニュアルを作成したり、感染症の勉強会を行う。冬場はインフルエンザの流行を予防するため、うがい・手洗いの呼びかけ、紙コップやうがい薬を設置している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食材は1日で使いきれの量を購入し、冷蔵庫にて保管をしている。調理器具等使用後は洗浄し、乾燥機にかけている。一日1回、まな板・包丁・ふきん類はキッチンハイターで消毒している。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は毎日掃除している。また、はなを飾り親しみやすい環境づくりをしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングに季節のはなを飾ったり、天窓からの光がまぶしくないよう随時調節している。居室前にはのれんをかけ、年2回季節に合わせて交換し、季節感を味わっていただく。</p> <p>(外部評価)</p> <p>リビングの飾り付けは利用者と相談しながら行っておられる。季節の花、動物の写真、利用者のお習字などが飾られていた。トイレには水の流し方が分かるように文字で示しておられた。ソファーや流し台等の設置等にも、利用者中心の生活を支援する事業所の工夫がうかがえた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビング内のソファーを一か所にまとめず、玄関前や、テレビの前などに設置し、思い思いの場所で過ごしていただく。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室にポータブルトイレや紙パンツなどを置いてある方へは消臭や使用しないときは布で目隠しをしている。タンスなどの家具はご家族のご協力にて、ご本人様の使い慣れたものを持って来ていただいている。また、冷蔵庫を持ってこられ、お好きな時間に、飲み物など飲まれている。利用者様の若いころの写真を持ってきて頂いている。		
			(外部評価) 居室には利用者の使い慣れたテレビや冷蔵庫が持ち込まれている。若い頃の写真も飾られ、お好きな帽子が沢山あるお部屋もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 朝の掃除、シーツ交換のときに換気をしている。また、トイレには消臭剤をおいたり、ふたつきのゴミ箱を利用し、においが出ないようにしている。室温は26度から27度に保ち、適温が保たれているか利用者さまに声掛けをおこなう。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 歩行される方は机や手すりを持ちながら、歩いていただけるが、車椅子の方は、狭いため、自走が困難である。		リビングのソファなど家具の位置を工夫し、通路が広くなるように利用者様と相談しながら行う。
			(外部評価) 部屋の戸が各部屋色分けされている。また、表札をつけたり、トイレには大きく「便所」と書いてわかりやすくしている。		屋内を改築したため、やむを得ず部屋がえを行った。そのため、部屋の間違いや、トイレを探される場面あり。随時声掛け誘導を行っていく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 花の好きな方が玄関先で花を見られることができる。玄関を出てすぐ駐車場であるため、安心して活動することが困難である。そのため、スタッフが見守りし、散歩・畑での作業などで、屋外で過ごしていただき、転倒など事故がないようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価) 花の好きな方が玄関先で花を見られることができる。玄関を出てすぐ駐車場であるため、安心して活動することが困難である。そのため、スタッフが見守りし、散歩・畑での作業などで、屋外で過ごしていただき、転倒など事故がないようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	声掛けやご家族様からの希望にて利用者様の思いを理解できるよう努める。しかし、職員に遠慮しているように見える方がいらっしゃる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	トイレ誘導や、落ち着かない方がいらっしゃるときはその方へ対応しているため、一緒にゆっくりできないことがある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入浴や食事の時間など、ご本人の希望をお聞きしながら決定しているため。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	昔からしてきた家事をすることで、「私がいなくては行けない」といわれ、張り切って作業されているが、部屋で寝たい・外へ出たくないと感じる方もいらっしゃるため。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩など近隣の外出から、市外へドライブなど支援しているため。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ベッドから車椅子への移乗介助で不安を訴えられる方がいらっしゃる。健康上についての心配はよく聴き、すぐ、病院と連絡して、その結果を利用者様に報告したり、直接主治医と話しができる機会をもっている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一日のスケジュールは特に決めていないため、利用者様のご希望にあわせて支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	入居時にホームに対するご希望や、ケアプラン更新時にご希望などお聴きしている。しかし頻りに話し合いの場を設けておらず、すべてのご希望は把握できていないと思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに ④ ほとんどない	地域の方々が訪問していただけるほどのおつきあいができていない。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ②	散歩の際に声を掛けていただいたり、「初めてホームに来ました」と言われる方もおられ、序々にホームを理解していただいている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ③ ③ ③ ③	休憩時間や休憩場所がきちんと定まっていないため、息をつけない。疲れも見える。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ③ ③ ③	「家に帰りたい」と訴えがあるので、満足していただいているように感じない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ③ ③ ③	細かなところまでサービスが行き届いているか不安である。しかし、ケアプラン更新時や、来所時にお話をさせていただき、ご希望の把握に努めている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・排泄介助について  
「オムツは排泄をする最終手段である」ことを頭においてその方の能力に合わせてトイレ誘導や、ポータブルトイレを活用しながら排泄ができるよう支援している。
- ・安心して暮らしていけるよう声掛けを積極的に行っている。
- ・外出援助は団体行動にせず、お一人お一人のご希望にあわせて、ゆっくり外出できるようにしている。
- ・利用者様がそれぞれの場面で活躍できる場をつくっている。